

2019年11月12日  
 千代田化工建設株式会社  
 IR・広報・CSR部

### 2020年3月期・第2四半期決算説明会：質疑応答サマリー

2019年11月6日に開催致しました2020年3月期・第2四半期決算説明会において、出席者の皆様から頂いた主なご質問と弊社の回答を以下にまとめております。

	質問	回答
1	遂行中案件の契約改定の効果は上期合計でいくらか。	完成工事総利益金額から通期予想完成工事利益率7.4%に相当する金額を除いた金額が契約改定効果などの寄与額となる。
2	同契約改定の効果は下期も見込んでいるのか。	下期も契約改定の効果は見込まれるが、コストも見込まれるため、単純に収益に上乘せになるとは考えていない。
3	下期も完工総利益通期予想 7.4%程度は見込めるか。 上期のような契約改定効果が発生すれば上振れることになるのか。	為替等の特殊要因がなければ、左記のとおり考えていただくことで結構。
4	来年以降の受注規模をどのように考えているのか。	再生計画の要として、受注方針は「オーバーストレッチした受注をしない」としている。例えばモザンビークLNG(エリア1)では、顧客、パートナーの了解を得てスコープを限定的にしている。受注額より利益を重視する。
5	再生計画の進捗について、この半年間の変化などはどうか。	従来の社員の意識は千代田化工建設＝ハイδροカーボンEPCであった。LNG案件は総じてフォローの状況にあるが、デジタルトランスフォーメーションの取り組みやフロンティアビジネス本部の新設など次のビジネスの柱を育成していく。今は企業文化を変革していく端境期にあるが、再生計画を愚直にしっかりと進めていく。

以上

この資料には、本資料発表時における将来に関する見通しおよび計画に基づく予測が含まれています。経済情勢の変動等に伴うリスクや不確定要因により、予測が実際の業績と異なる可能性があり、予想の達成、および将来の業績を保証するものではありません。

従いまして、この業績見通しのみを依拠して投資判断を下すことはお控えくださいますようお願いいたします。